

調査計画

1 調査の名称

産業連関構造調査（栽培きのこ生産業投入調査）

2 調査の目的

産業連関表作成に必要な、栽培きのこ生産事業における投入額推計のための基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲

全国

(2) 属性的範囲

日本標準産業分類の細分類「0113野菜作農業（きのこ類の栽培を含む）」のうち、栽培きのこの生産を行った事業所

4 報告を求める者

(1) 数

約150事業所（母集団の数 約 14,000事業所）

(2) 選定の方法（☐全数 ☐無作為抽出 ☒有意抽出）

産業連関表作成対象年の直近に実施された「農林業センサス」の結果に基づき、過去1年間にきのこを栽培を行った事業所のうち、販売金額が比較的多い事業者を報告者として選定。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

ア 収入内訳

イ 経費内訳

(2) 基準となる期日又は期間

調査実施年の前年の1月1日から12月31日までの1年間

ただし、上記期間で記入が困難な場合は、調査実施年の前年を最も多く含む決算期間

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織

農林水産省 — 民間事業者 — 報告者

(2) 調査方法（☐調査員調査 ☒郵送調査 ☒オンライン調査 ☐その他）

民間事業者から報告者に対して、郵送により調査票を配布・回収する自計報告の

方法で行う。

電子メールにより調査票の配布・回収を希望する報告者については、民間事業者から報告者に対して、電子メールにより調査票を配布・回収する自計報告の方法で行う。

なお、電子メールの送受信に当たっては、調査票情報が保存されているファイルに対して、報告者ごとに異なるパスワードを設定したセキュリティ対策を講じる。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

原則 5 年（産業連関表作成対象年の翌年に実施）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査実施年の 8 月上旬～ 9 月下旬

8 集計事項

(1) 収入内訳別

金額

(2) 経費内訳別

金額、構成比

(3) 再生資源の発生状況

金額、品目

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法

インターネット（e-Stat等）により公表する。

(2) 公表の期日

調査実施翌年 9 月

10 使用する統計基準

調査対象の範囲を画定する際に日本標準産業分類を使用する。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

記入済み調査票：3 年（調査実施年の翌年 4 月 1 日から起算）

調査票の内容を収録した電磁的記録媒体：永年

(2) 保存責任者

農林水産省大臣官房統計部長